

表-6.1.1(17) 南側仮設調整池の必要容量及び場内確保容量
10年確率規模 (m³)

年次	短期降雨 強度による	長期降雨 強度による
2年次	—	—
3年次	—	—
4年次	—	—
5年次	70,466	79,330
6年次	50,364	54,078
最大値	70,466	79,330

年次	南側仮設調整池				
	仮設調整池容量		工事中の必要容量		工事中 確保容量
	有効容量	満杯容量	必要容量	場内確保	
	①	②	③	④ = ③ - ①	⑤ = ② + ④
2年次	—	—	—	—	—
3年次	—	—	—	—	—
4年次	—	—	—	—	—
5年次	41,100	53,900	79,400	(38,300)	92,200
6年次	41,100	53,900	54,100	(13,000)	66,900

備考：有効容量：供用開始後の必要容量
 満杯容量：有効容量に余裕高分を見込んだ容量
 必要容量：工事中の必要容量
 場内確保：工事中、場内に確保する容量
 工事中確保容量：工事中の全確保容量（浸透ゾーン+場内確保）

図-6.1.1(25) その他調整池位置関係

表-6.1.1(26) 各調整池の必要容量と浸透面積とろ過能力の関係を示すもの。ろ過能力は、ろ過速度が200mg/Lの場合、図-6.1.1(24)の式で算出される。

施設位置	調整池		ろ過能力		規模
	集水面積 (ha)	必要容量 (m ³)	浸透面積 (m ²)	ろ過能力 (m ³ /日)	
① 池内調整池(第一調整池)	0.1	900	1,000	1,000	2×20×20
② 池内調整池(第二調整池)	0.1	900	1,000	1,000	2×20×20
③ 池内調整池(第三調整池)	0.1	900	1,000	1,000	2×20×20
④ 池内調整池(第四調整池)	0.1	900	1,000	1,000	2×20×20
⑤ 池内調整池(第五調整池)	0.1	900	1,000	1,000	2×20×20
⑥ 付帯道路2	1.3	2,250	2,250	1,500-04	2×20×25
⑦ 付帯道路2	1.3	2,250	2,250	1,500-04	2×20×25
⑧ 付帯道路4	0.3	700	700	1,500-04	2×20×5
⑨ 取付道路	0.7	1,550	1,550	1,500-04	2×20×15

注：実施の際は、現場条件、工事工期等によって変動があり得る。